

自分と相手の考え方の違いについて知ろう

HYOGO スクールエバンジェリスト 西宮市立甲子園浜小学校 小山 純平

本時の目標 ・自分の感じ方と相手の感じ方には違いがあることを知り、日常生活と同じようにインターネットの中の世界でも、相手を思いやる心を持つ。	校種・学年	小学校・3年
	教科・領域	総合的な学習の時間・情報モラル
	アプリ・ソフト	・Teams ・スマイルネクスト
	備考	ひょうご GIGA ワークブック

○本時の展開

○学習活動（◆指導上の留意点）	
導入	○みんなのインターネット環境の違いを交流する。 ◆事前にアンケートを実施しておき、まとめておくことで、スムーズに授業を展開することができる。
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 自分と相手の考え方の違いを考えよう。 </div> ○自分が言われて嫌な言葉について考える。 ◆ひょうご GIGA ワークブックを活用する。 ○SNS などですれたら嫌なことについて考える。 ◆スマイルノートを活用し意見を並び替えること ことで、比較しやすくすることができる。
まとめ	○考え方の違いからどんなトラブルが起こるか、考える。 ◆具体例を挙げ、起こりうるトラブルについて予想させることで、今後の生活に生かす。

育成できる情報活用能力

◎情報収集、整理、分析、表現

「Microsoft Forms による意見集約」アンケート機能を使うことで、結果を分かりやすく比較すること・表示することができることを知る。
この機能を今後の学習で、自分たちでも活用できることを伝えておく。

育成できる情報活用能力

◎整理、分析（情報モラル）

スマイルノートを用いて、それぞれの考え方を視覚的にも分かりやすく分類することで、それぞれの考え方には違いがあることを知り、見えない相手を思いやることの大切さを学ぶ。
PP でも同じ活動を行うことができる。

児童の感想
・考え方が違うことが、すぐに分かって分かりやすかったです。 ・見えない相手だからこそ、伝え方は気をつけないといけないと思いました。 ・自分なら言われてうれしい言葉が、いわれたら嫌な気持ちになる人がいるなんて驚きました。

<情報活用能力の育成とその効果>

- 色を使った情報を並びかえさせることで、共有画面から視覚的にも違いを分かりやすく認識させることができる。
- インターネットをゲームや YouTube 以外にはあまり使用していない学年ということもあり、SNS の怖さや便利さについて素直に学ぶことができた。

多面的に情報を収集・考察しようとする態度の育成

HYOGO スクールエバンジェリスト 赤穂市立坂越小学校 津 孝明

本時の目標 ・体験学習を通して学んだことや感じたことを交流する。 ・出てきた意見を比較・分類することで、自分たちに必要な情報のみになるよう精選する。	校種・学年	小学校・4年
	教科・領域	総合的な学習の時間
	アプリ・ソフト	・Google Jamboard ・Google スプレッドシート
	備考	単元終わりの相互評価の際にスプレッドシートを活用

○本時の展開

	<p align="center">○学習活動（◆指導上の留意点）</p>
導入	○本時のめあてを確認する。 体験活動で感じたことを交流し、情報を整理しよう。 ◆これまでの福祉に関わる体験活動を振り返り、学んだことや気付いたことなどを想起させる。
展開	○グループで Jamboard に意見を出し合う。 ◆できるだけ短い言葉で書くように伝える。 ○出てきた意見を比較・分類・統合することで必要な情報に整理していく。 ◆一部の児童の意見に偏ることのないように話し合ってみよう。 ◆付箋で色分けすることで、視点を明らかにし、意見を整理しやすくする。
まとめ	○全体で交流する。 ○整理した情報から、今後さらに調べていきたいことを考え、選択する。 ◆次時の活動でも見返すことができるように、クラスルームにデータを保存しておく。

育成できる情報活用能力

◎いくつかある情報の中から自分たちに必要なもののみを精選し分類する。

育成できる情報活用能力

◎調べてまとめたものを発表する際、評価をプルダウン方式で行うことで簡単に入力できるようにする。一つのシートに入力しクラウド保存することでいつでも閲覧することができる。

出席番号	A	B	C	D	E
1	○	○	○		もう少し大きな声が出ていると良いと思いました。
2	○	○	○		
3	○	○	○		面白い発表だった。たくさん拍手がけしていた。
4	○	○	○		みんなが、聞こえるくらい大声で発表をしてくいた。イラストや写真を入れてとても想像しやすかった。色分けもして見やすかった。
5	○	○	○		
6	○	○	○		自分を見ていて思いついた。意見がたくさんあって勉強しやすかった。自分の意見も発表できた。発表も上手だった。

児童の感想

- ・付箋で簡単に書くことができるので、意見を出しやすかった。
- ・色分けしてあるので何をどこに書けばいいかわかった。
- ・付箋になっているので動かしやすくまとめるときも重ねるだけでいいので簡単だった。
- ・たくさんの意見があってまとめるのが大変だった。

<情報活用能力の育成とその効果>

- ・グループで意見を出す際に、KJ法を用いて考えを出し合い、比較・分類することができる。
- ・クラスのドライブに保存することで、いつでも閲覧できるようにして振り返りや次の活動に生かすことができる。

豊岡のコウノトリについて学んだことをまとめ、講師や周りの人へ伝える資料をつくる。

HYOGO スクールエバンジェリスト 豊岡市立府中小学校 成田 亘

本単元の目標 ・豊岡市のコウノトリと共に生きるために行ってきた活動について理解する。 ・学んだ内容を、プレゼンテーションにまとめ、発信したり保存したりできる。	校種・学年	小学校・5年
	教科・領域	総合的な学習の時間
	アプリ・ソフト	・Google Classroom ・Google スライド ・Google ドライブ
	備考	ひょうご GIGA ワークブック

○本時の展開

	○学習活動（◆指導上の留意点）
導入	○3年生の時に学んだ「コウノトリについて」の学習をプレゼンテーションにまとめる。 ◆学習のふりかえりのため、既習内容をまとめたシートを作成させる。
	コウノトリについて学びを発信しよう。
展開	○外部講師を招き、豊岡市のコウノトリと共生について学ぶ。 ○学んだことをプレゼンテーションにまとめる。 ◆国語の「資料を用いて書こう」や、GIGA ワークブックと関連させ、引用する資料などの情報モラル指導も行う。
まとめ	○作成したプレゼンテーションを PDF に変換し、相互に読み合ったり、外部講師に Google ドライブで共有し意見をもらったり、各自の Google ドライブに保存したりする。 ○保護者にも PDF にしたものを学習の成果として見てもらう。


育成できる情報活用能力

◎過去の学習した内容をクラウドに保存しておくことで、過去の学習成果物を読み出し、参照しながら資料作成にあたることができる。

育成できる情報活用能力

◎資料を引用する際に注意することを等の情報モラルの指導を同時に行うことで実感を伴った指導を行うことができる。

◎友だちのスライドを相互に読み合う中で、良い点を真似たり、自身のスライドを改善したりすることができる。



児童の感想

・プレゼンにまとめる中で、これから生き物を大切にしたりご飯を残さず食べたりして、コウノトリのためにできることをしていこうと思いました。

・友だちのスライドを見たり、操作方法を教えてもらったりしながらまとめたので、楽しかったです。

<情報活用能力の育成とその効果>

- ・1人1台端末を使うことで、児童が学習した内容や自分の思いを、自分なりに表現方法を工夫しながらまとめることができた。
- ・Google スライドで作成したものを、Google ドライブに保存したり、クラスルームで教師に送信したりするなど、目的に応じて、アプリケーションを選択し、操作させることができた。